KeTMath使い方

高遠節夫

KETCindy センター 2021.11.11

数式の簡易記法と KeTMath

数式の簡易記法 1

• 分数
$$\frac{a}{b} \Longrightarrow fr(a,b), (a)/(b)$$
 注) 小さい分数 $tfr(a,b)$

- 掛け算 $ab \implies ab$ 注)a*bも可
- ullet べき乗 $a^b \Longrightarrow a^(b)$ 注)b が 1 文字の場合は a^b も可
- べき乗根 \sqrt{a} , $\sqrt[3]{a}$ \Longrightarrow sq(a), sq(3,a)
- 三角関数 $\sin x, \sin^2 x \implies \sin(x), \sin(2,x)$
- 度 $60^{\circ} \implies 60(\deg)$
- ullet 円周率 $\pi \Longrightarrow pi$
- 対数関数 $\log x, \log_a x, \ln x \Longrightarrow \log(x), \log(a,x), \ln(x)$
- 改行 //
- みペース (sp)注)T_EX の\; を出力
- 立体 100m \Longrightarrow 100tx(m)

数式の簡易記法 2

• 積分
$$\int x^2 dx, \int_a^b x^2 dx \implies \operatorname{int}(x^2,x), \operatorname{int}(a,b,x^2,x)$$

- ブラケット $\left[f(x)\right]_a^b \Longrightarrow \mathrm{br}(\mathrm{f}(\mathrm{x}),\mathrm{a,b})$
- 極限 $\lim_{x \to a} f(x) \Longrightarrow \lim(x,a,f(x))$ () は自動判定するが,強制的に ()を外すとき式の先頭に! $\sum_{k=1}^n k^2 \Longrightarrow \sup(k=1,n,k^2)$ ()をつけるとき式の先頭に!! $\inf(!x+y,x)$
- 微分·偏微分 $\frac{dy}{dx}$, $\frac{\partial z}{\partial x}$ \Longrightarrow diff(y,x), par(z,x)
- 行列・行列式 $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$, $\begin{vmatrix} a & b \\ c & d \end{vmatrix} \Longrightarrow \max(\mathtt{a},\mathtt{b};\mathtt{c},\mathtt{d}), \det(\mathtt{a},\mathtt{b};\mathtt{c},\mathtt{d})$
- 場合分け $\begin{cases} a & (x < 0) \\ c & (x > 0) \end{cases}$ \Longrightarrow case(a,(x<0);c,(x(geq)0))

数式の簡易記法 3

•
$$Fy \vdash x \vdash x \mapsto (dot), (cross)$$

• 不等号
$$<,>,\leq,\geq\Longrightarrow$$
 <, >, (leq), (geq)

$$ullet$$
 下添字 $a_n \Longrightarrow ext{a_n}$

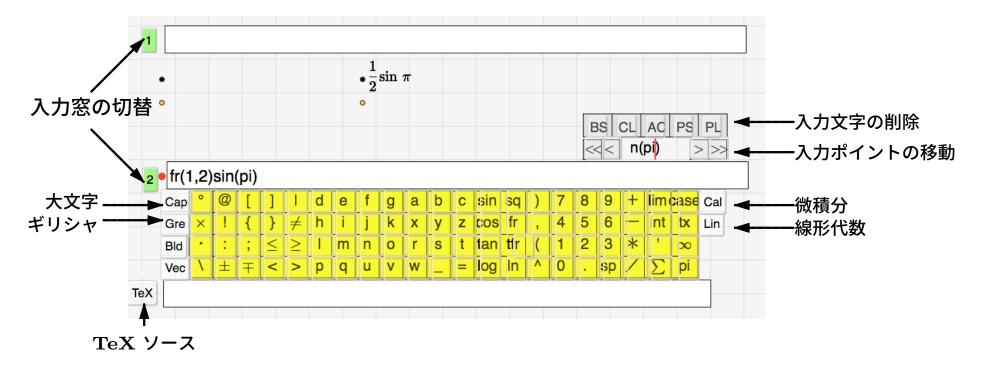
• 全角文字を混ぜてもよい

$$x^2 + 2x - 3 = 0$$
 の解は $x = 1, -3 \implies x^2 + 2x - 3 = 0$ の解は $x = 1, -3$

- ギリシャ文字 $\alpha, \beta \Longrightarrow \{ \langle \lambda \rangle, \{ \langle \lambda \rangle \} \}$
- その他の T_EX 記号はそのまま書いて (sp) で区切る $\sim, \subset, \in \Longrightarrow \sim(sp)\subset(sp)\in$
- Maxima 数式に変換する場合,数式文字は 1 文字とする. $absin(x) \Longrightarrow (Maxima 数式) = a*b*sin(x)$

KeTMath(数式入力アプリ)

- https://s-takato.github.io/ketcindysample/ketmath/offline/ketmathjsoffL.html
 - samples of ketcindy > ketmath system に行けばよい.
- キーボードにより簡易数式を入力することができる
 - ・TEX 数式(TeX ボタンを押すとソースも)が表示される.



KeTMath による課題処理

準備

- (1) サブフォルダ data を作成する.
- (2) 学生リスト (txt) を作成して data に入れる.ファイル名は student2021.txt などとして,1 行ずつ名前を入れる.
- (3) 問題と正解のファイル question(+date).txt を作成して data に入れる. 詳細は次ページ

問題と解答の作成 (question)

タイトル行 Q...
 問題文
 小問(番号は[1]...)
 Sheet
 解答欄の作成
 「::」の後に配点を書く
 Ans
 解答
 1行空白行をおく

- 1 つの問題に複数の選択肢を与えるときは::(ダブルコロン)で区切る.
- ファイル名は question1030(=date).txt などとして data に入れる.

問題と解答の作成例

```
Q10301
次の値を求めよ
[1] \sin(15(\deg))::\sin(75(\deg))
[2] \cos(75(\deg)::\cos(15(\deg))
Sheet
[1] = ::5
[2] = ::5
Ans
[1] fr(sq(6)-sq(2),4)::fr(sq(6)+sq(2),4)
[2] fr(sq(6)-sq(2),4)::fr(sq(6)+sq(2),4)
    (空白行)
```

問題と解答の作成例 (続)

```
Q10302 \sin(x-fr(pi,4))を \sin(x),\cos(x)で表せ、// Hint:加法定理を用いよ、Sheet =::10 Ans \sin(x)\cos(fr(pi,4))-\cos(x)\sin(fr(pi,4))//=fr(1,sq(2))(\sin(x)-\cos(x))
```

taskline.txt の作成

- toolketmath.cdy を立ち上げる.
- 「1.taskline を作成」のボタンを押す.ファイル question,student が表示
- それらのファイルを順にクリック 下にファイル名が表示される。



- OK ボタンを押す.
 - 1taskline のテキストファイルが data に作成される.注)ファイル名には question の日付が付加される.
 - ・青字で 1taskline のファイル名が表示される.
 - ・学生の解答を入れる 2anssheet(+date).txt というファイルもできる
- toolketmath.cdy は立ち上げたままにしておく.

kettask.html(課題用) の作成

- toolketmath.cdy を立ち上げる (終了した場合).
- 「2.kettask に組込」のボタンを押す.
 - ・kettaskorg.html と 1taskline(+date).txt のファイルが表示される.
- それらのファイルを順にクリック
 - 右下にファイル名が表示される。
- OK ボタンを押す.
 - ・kettask(+date).html がカレントディレクトリに作成される. 注)ketaskorg に 1taskline を挿入した課題ファイル (html) である.
- このファイルを web サイトにおき、リンク先を学生に知らせる。
 - これが出題になる。

kettask の画面



学生による解答と提出

- 配付されたリンク先をクリック
- 欄3のStudent=の後に番号をキーボードで入力して OK を押す.
- 名前を確認して解答用の欄 2 に答えを入力
- ◆ 赤いボタンの上の窓にページ番号が表示される.
 - ・白い矢印を押してページ番号をを変えて.回答する.
 - ・「―」のあるページには入力できない.
- 解答が終わったら、「Rec」ボタンを押すと欄3にすべての解答が入る.
- 「すべてを選択」>「コピー」
- 提出用の欄などにペーストして送信する

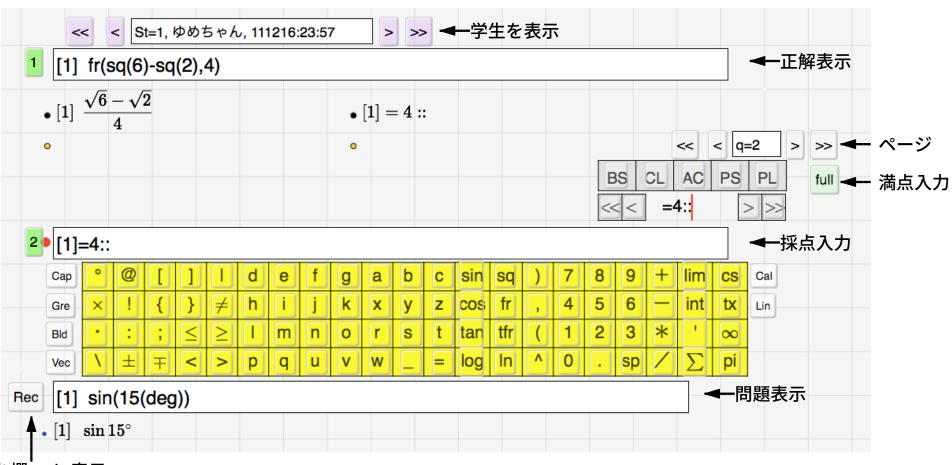
scoreline.txt の作成

- 提出された解答を stans(+date).txt にコピーする.
 - ・GoogleClassroom のデータをそのままコピペしてもよい.
 - ・不要な行の削除やソーティングは KeTMath が行う.
- toolketmath.cdy を立ち上げて、「3.Scoreline を作成」を押す.
 - question, 1taskline, 2anssheet のファイル表示.
- それらのファイルを順にクリックすると、右下にファイル名が表示される.
- OK ボタンを押す.
 - ・3scoreline のテキストファイルが data に作成される.
 - 注)ファイル名には quans の日付が付加される.
 - ・採点結果を入れる result(+date).txt というファイルができる

ketscore.html(採点用) の作成

- toolketmath.cdy を立ち上げて、「4.ketscore に組込」を押す.
 - ・ketscoreorg.htmlとscoreline(+date).txtのファイルが表示される.
- それらのファイルを順にクリック
- OK ボタンを押すと、ketscore(+date).html が Dircdy に作成される.
 注)ketscoreorg に scoreline を挿入した採点ファイル (html) である.
- ketscore(+date).html を立ち上げる
 - ・上の紫ボタンで学生番号,赤ボタンの上のボタンで問題番号を変える.
 - ・::の後に点数をキーボードで入れる.
 - ・採点が済んだら Rec を押し、欄 3 の内容を 4.scoresheet (+date).txt にコピペ.
- 採点途中の場合も, 4scoresheet(+date).txt にコピペしておく.
 - ・再開したら,欄 3 に 4scoresheet(+date).txt の内容をコピーする.

ketscore の画面



結果を欄3 に表示

配付用成績表と得点一覧ファイルの作成

- toolketmath.cdy を立ち上げる.
- 「5. 成績票を作成」より、次のファイルが作成される.
 - ・data/card に成績票 (学生ごと) ファイル
 - ・data に全員の成績票をまとめた 5recordlist(+date).txt
- 「6. 得点 csv を作成」より data に得点データの csv ファイル 6scoretable1105(+date).csv が作成される。

Maxima による採点

• Maxima で採点しない問題には,Sheet の最後に::と -1 をつける Sheet

$$[1] = ::5::-1$$

$$[2] = ::5::-1$$

 「7.Maxima の採点」を押すと、Maxima が起動して採点表 7scoremax(+date).csv
 ができる